

RVDv4.1 における変更点

本ドキュメントは ARM 社の提供する RealView Debugger v4.1 Essentials Guide(ARM DUI 0181L)内 Chapter3 Changes to RealView Debugger の内容に基づき作成されたものです。内容につきましては全て上記ドキュメントをマスターといたしておりますので、ご使用の際には必ず上記ドキュメントを参照の上、本ドキュメントは参考資料として用いる形をお取りくださいますようお願い申し上げます。

本ドキュメントでは RealView Debugger v4.1 と RealView Debugger v4.0 での変更点について記載しています。

1. RealView Debugger コマンドラインオプション	3
2. デバッグターゲットサポート	3
3. デバッグインタフェースサポート	4
4. GUI の変更	4
5. CLI コマンドの変更	4
6. トレース、解析およびプロファイリング	5
7. ドキュメントの変更	5
8. 非推奨となった機能	5

1. RealView Debugger コマンドラインオプション

以下の rvdebug コマンドラインオプションが追加されました :

- --help
- --version

以下も参照してください :

RealView Debugger User Guide 内の以下の項目 :

- 2-2 ページ Starting RealView Debugger from the command line

2. デバッグターゲットサポート

以下のプロセッサ、モデルおよびボードをサポートしました :

プロセッササポート

以下のプロセッサをサポートしました :

- Cortex-A5
- Marvell Sheeva 88SV581x-v7 PJ4

CoreSight サポート

CoreSight Instrumentation Trace Macrocell(ITM) デバイスに接続できるようになりました。これにより、Registers ビューを使用した CoreSight ITM の設定が可能になります。

モデルサポート

以下の Real-Time System Models (RTSMs) をサポートしました :

- Cortex-A5
- Cortex-A9 Dual Core

ボードサポート

以下のボードについて、Board-Chip Definition (BCD) ファイルと、適当なものがある場合、関連する Flash method が追加されました :

- Atmel AT91SAM9261-EK
- Atmel AT91SAM9263-EK
- Atmel AT91SAM9G45-EKES
- Atmel AT91SAM9RL-EK
- Icyteature iMX35 Starter board
- MX31
- MX31 LiteKit
- Freescale iMX25 PDK
- Freescale iMX27 LiteKit
- Texas Instruments Zoom OMAP34x-II Mobile Development Platform
- PBX-A9
- PHYTEC phyCORE-iMX35
- Samsung SMDK C100
- TMS320DM355
- VAB926EJ-S. bcd は以下に置き換えられました :
 - vpb926ej-s_256KB. bcd
 - vpb926ej-s_64KB. bcd
- zoran4100. bcd

以下も参照してください :

RealView Debugger User Guide 内の以下の項目 :

- Chapter 3 *Target Connection*

RealView Debugger Target Configuration Guide 内の以下の項目 :

- 1-19 ページ *Summary of supplied BCD files*
- 6-2 ページ *Summary of files used to program Flash on supported development platforms*

3. デバッグインタフェースサポート

RealView Debugger は以下のデバッグインタフェース接続を追加サポートします：

- DSTREAM
- Model Library
- Model Process

同様に、デバッグインタフェース用のツールチップが使用可能です。

以下も参照してください：

RealView Debugger User Guide 内の以下の項目：

- 1-5 ページ *Connect to Target window*
- Chapter 3 *Target Connection*

RealView Debugger Target Configuration Guide 内の以下の項目：

- Chapter 2 *Customizing a Debug Interface configuration*
- Chapter 3 *Customizing a Debug Configuration*

4. GUI の変更

RealView Debugger GUI に以下の変更が加えられました：

- Unload ツールボタンが図 3-1 に示すように、Image ツールバーに加えられました。

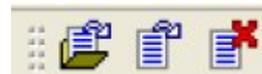


図 3-1 Image ツールバー

- Connect to Target ウィンドウ内 Debug Interface にツールチップが使用可能になりました。

5. CLI コマンドの変更

以下の CLI コマンドがサポートされました：

- カレントワーキングディレクトリを変更する CWD
- カレントワーキングディレクトリを表示する PWD

以下も参照してください：

RealView Debugger Command Line Reference 内の以下の項目：

- 2-12 ページ *Alphabetical command reference*

6. トレース、解析およびプロファイリング

トレース、解析およびプロファイリング機能に関する大きな変更は以下の通りです：

- Cortex-A5 プロセッサからのトレースを可能にする ETM v3.5 のサポートが追加されました。
- RealView Debugger v4.0 SP3 以降、Windows と Red Hat Linux の両方でトレースがサポートされます。
- 以下のプラットフォーム用のトレースの自動設定スクリプトが提供されます。
 - AT91SAM9263
 - i.MX25
 - i.MX31
 - i.MX51
 - OMAP35xx
 - STM32E

スクリプトは以下にあります：

```
C:\Documents and Settings\userID\Local Settings\Application Data\ARM\rvdebug\version  
shadowbase\etc\platform
```

7. ドキュメントの変更

以下の変更が RealView Debugger のドキュメントに加えられました：

- *RealView Debugger User Guide* 内、新しい Debug Interface エントリを通じたターゲットへの接続方法
- *RealView Debugger Target Configuration Guide* 内、新しい Debug Interface サポートとフラッシュプログラミングサポートを含む更新されたボードサポート

以下も参照してください：

RealView Debugger Target Configuration Guide 内の以下の項目：

- Chapter 1 *Introduction*
- Chapter 6 *Programming Flash with RealView Debugger*

8. 非推奨となった機能

以下の機能は非推奨となります：

- *RealView Instruction Set Simulator (RVISS)* サポート
- ISSM サポート
- ARM10 ファミリのプロセッササポート

– 以上 –